# 診断ひろしま

平成 30 年 6 月　第 79 号

■　巻頭の言葉　会長就任の挨拶　　会長　江川　雅典　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

■　巻頭の言葉　副会長就任の挨拶　副会長　井上　明雄　副会長　大村　貞之 ・・・・・・・・・・・・ 3

■　トピックス『平成 30 年度通常総会　報告』 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

■　スキルアップメニュー　平成 29 年度　冬期実務補習　報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

■　随筆・見聞録『中小企業診断士　×　？？士（師）について』　原　信之介 ・・・・・・・・・・・・ 9

■　書評『衰退の法則』　青谷　智晃・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

■　会員『診断士リレー訪問記』　金田　賢二 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

■　新入会員紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

■　平成 30 年度 研究会活動計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

■　平成 30 年度 委員会活動計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21


一般社団法人 広島県中小企業診断協会

## 巻頭のことば

### 『より身近で頼りになる経営パートナーを目指すために』

会長　江川　雅典

平成 30 年 5 月 19 日開催の「平成 30 年度一般社団法人広島県中小企業診断協会通常総会」で、任期満了に際し新役員の選任が行われ、岸本会長の後任として私が会長に就任することになりました。まだまだ若輩ではありますが、新副会長や専務、新役員の方々と共に、諸先輩が築かれてこられたエネルギーや価値観を継承すると共に、様々な関係機関からの要請に応え、取り組むべき各種課題の解決を図り、協会の発展に全力を尽くす所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

今回の新体制では、副会長を 3 人体制にしたほか、事務局長兼任の専務理事を新設しました。副会長には、2 つもしくは 3 つの委員会を担当して頂き、スピーディな意思決定を実現するとともに親身になって気軽に相談できる体制を構築しました。また、事務局長兼任の専務理事には、診断協会が抱える様々な諸問題の解決に向け、積極的且つ能動的に動いて頂くことを期待しております。

委員会におきましては、会員サービスの向上を目指して、総務委員会・広報委員会・会員研修委員会・グループ研究委員会には、引き続き活発な委員会活動をお願いしております。そして今年度より、試験委員会から実務補習業務を切り離し、更新研修委員会から実務従事業務を切り離して、新たな診断実務委員会として発足させました。関連する業務をまとめ、ノウハウの共有と業務遂行の負荷低減を図るためです。さらに、品質保証委員会を設けて、受託業務の品質向上に対する取組みを行うこととしました。様々な支援機関から各種の支援要請が出ている中、それらの要望に応え、より成果にふさわしい対価が得られるようにするためのスキルアップ支援や運用規定立案を行う委員会です。各委員会の積極的な協力により、協会が益々活性化され、ひいては協会員のサービス向上につながっていくことを期待しています。皆様におかれましては、改めて委員会活動に、お力をお貸しください。

小規模企業振興基本計画の中に、小規模企業の「前向きな一歩」を支援機関関係者が総力を挙げて応援し、経営の羅針盤の役割を果たして欲しいとあります。また近年では、地域経済を重視すると同時に、一社一社の個社支援から地域の面的支援に切り替わってきています。その実現のためには、様々な関係機関が協力関係を構築し、ネットワークをより強固にしていかねばなりません。ここに、中小企業診断士としてのコーディネイトの力が求められているところです。

環境の変化が激しい中で、中小企業診断士に求められている専門的知識は、この荒波を乗り切るまさに羅針盤です。会員の皆様には、中小企業診断士の地位向上に繋がる積極的な意見や、革新に繋がる様々なアイディアを是非とも頂きたいと考えております。より身近で頼りになる経営パートナーを目指していきましょう。

## 『地域連携のコーディネーターとしての中小企業診断協会』

副会長　井上　明雄

今年度より新たに副会長に就任しました井上明雄です。中小企業診断士の業務経験、また、県協会員としての経験も浅いことから、至らぬ点も多いかと思いますが、江川新会長の元、役員の方々とともに、新体制の基盤強化、さらに発展に向けて貢献していく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

県協会では、昨年度まで会員研修委員会の委員長として、県協会主催のセミナーや会員研修会の企画・運営を担当して参りました。各種セミナーや研修会の開催にあたっては、中小企業診断士の諸先輩、他士業の先生方、地方自治体、中小企業支援機関、金融機関など、講師をお願いした方々には多大なご協力とご支援を賜りました。ご多忙の所にご無理をお願いしたこともありましたが、いずれも快くよくお引き受け頂き、「会員の資質向上」の取り組みを充実させることができましたこと、心より感謝申し上げます。

今年度より３人体制となった副会長のひとりとして、会員研修委員会とグループ研究委員会を担当することとなりました。会員研修委員会は、上記のように、知見を有する先生方、中小企業支援機関等との連携が不可欠です。グループ研究委員会は、グループ研究会の活動をサポートするうえで県協会内外の幅広い情報が必要であり、各グループ研究会では、大学・研究機関、企業から情報収集を行うとともに、フィードバックとしての情報発信も求められます。会員研修、グループ研究の両委員会とも、関係機関、企業・団体等との緊密な連携・協力関係が活動の基盤となる委員会です。

担当の副会長として、両委員会の運営に関しては、委員会相互の情報交流と、研修・研究活動の連携による相乗効果を図る調整・つなぎの役割を担います。また、外部との関係に関しては、既にご協力頂いている関係機関等との連携を継続、さらに深化させていくとともに、県協会と地方自治体、中小企業支援機関、金融機関、企業・団体等との有機的な連携関係の構築に努めて参ります。

会員の皆様には、会員研修委員会およびグループ研究委員会（グループ研究会）の研修事業やや研究活動に、それぞれの立場で、積極的に参加して頂くことをお勧めします。両委員会の事業や活動に参加することで、スキルアップに関わる情報を取得できることはもちろん、中小企業支援機関および中小企業支援ネットワークとの関係を創り、相互の認識と理解を深める機会につながります。ぜひとも、そうした機会を日々の業務に活かして頂きたいと願っております。

県協会と会員一人ひとりが関係機関等との関係性と相互理解を深め、中小企業支援ネットワークの中において、地域連携のコーディネーターとしての役割を担い、地域経済の振興に大きく貢献していくことを目指していきましょう。

## 『県東部地域の連携を強化し、協会の価値向上・さらなる発展へ』

副会長　大村　貞之

今年度より新たに副会長に就任しました大村貞之です。このような大役を仰せつかるには、まことに微力ではありますが、諸先輩各位ならびに会員の皆様のご助言、ご協力をあおぎながら、江川新会長の元、役員の方々とともに、新体制の基盤強化・発展に向けて貢献していく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

私は 12 年前、お世話になった信用金庫を退職し、財務系のコンサルタントとして独立し、福山市を中心に活動しています。その信用金庫からの紹介もあり、現在８社の顧問先の経営に携わらせて頂いています。他に、ものづくり補助金のコーディネーター、中国職業能力開発大学校の外部講師、個別企業の経営診断、再生案件の事業計画作成支援等の業務に従事させていただいております。県協会では、昨年度まで、監事を務めさせていただき、皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

企業が繁栄するか衰退するかは、その企業が「どれだけ価値を提供しているかどうか」が重要だと考えます。それは県協会においても同じです。県協会の活動方針にあるように「人のため」「世のため」となることを常に念頭に置き、より高い価値を創造していくことが、地域産業の発展に貢献するためには必要です。前会長・副会長・役員をはじめ、諸先輩方が築かれた県協会の価値を承継すると共に、さらなる発展が出来るよう精励する所存であります。

今年度より３人体制となった副会長のひとりとして、試験委員会・診断実務委員会・更新研修委員会を担当することとなりました。試験委員会は、受験者の安全・安心・快適な環境づくり、診断実務委員会と更新研修委員会は、会員の資質向上をめざし、各委員長と連携を密にしながら努めて参ります。外部環境の変化が激しい中で、県協会が発展していくためには、会員１人ひとりのスキルアップが必要不可欠であると認識しています。その中で、大役としての責任を感じております。

県東部地域については、平成 28 年 2 月より理論更新研修の福山地区開催が実施され、連携が強化されている事を実感しています。また、県東部地域を活動拠点とする会員研究会（資金繰り表研究会、事業承継研究会）が平成 29 年度に発足し、活性化が進んでいます。この良い流れを踏襲しつつ、さらに発展させたいと考えています。ご承知のとおり県東部地域にも優秀な人材が豊富です。県東部地域会員の利便性向上の支援や会員相互の交流の場を広げ、より多くの方々が県協会の事業にご参加されると同時に、県東部地域の会員増強を図りたいと考えます。それが県協会のさらなる価値向上につながり、さらなる発展に寄与すると考えるからです。今後とも一層のご支援ご協力をお願いします。

# トピックス

## 『平成 30 年度通常総会　報告』

総務委員長　波出石　誠

平成 30 年 5 月 19 日（土）15 時よりホテルメルパルク広島において、一般社団法人広島県中小企業診断協会の通常総会を開催した。司会は、西原副会長が行った。

会議に先立ち岸本会長より、次のような挨拶があった。「諸先輩の長年に亘るご努力、環境変化もあり、近年、中小企業診断士に対する評価や期待が富に高まって来ております。私が会長に就任しましてから 2 年・2 期、合計 4 年を経ました。昨今の経営環境の激しい変化は、当協会にも変革を求めております。その変革の取り組みは、本総会でご審議をいただく新たな役員に委ねたいと考えています。」

続いて、現会員 169 名のうち出席者は 100 名（書面表決者を含む）で、定款第 18 条に定める総会成立の要件を満たすことが確認され、岸本会長が議長に就任した。

総会では、次の 3 つの議案、「平成 29 年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表の承認に関する件」、「平成 30 年度事業計画（案）、正味財産増減予算書（案）の承認に関する件」、「役員の選任に関する件」が上程され、全員異議なく承認可決された。

これを受けて、新役員による臨時理事会が開催され、新年度の県協会会長に江川雅典氏、副会長に井上明雄氏、大村貞之氏、西原州康氏の 3 名、専務理事に西村英樹氏が選任された。

総会閉会後、会員表彰が行われた。役員・委員 6 年在職者表彰では、小寺崇之氏、田村善光氏、20 年在籍者表彰では、藤田武志氏、玉崎猛氏が表彰され、表彰状と記念品が授与された。

総会　議事

講演会　広島大学特任教授 平見尚隆氏

懇親会

講演会では、広島大学特任教授　平見尚隆氏（当協会会員）が講師を務め、「産学官連携で形成するイノベーションエコシステム」というテーマで講演が 60 分行われた。

その後、以下の来賓 17 名をお招きし、会員 58 名、計 75 名で懇親会が開催された。会員の牧野恵美子氏の進行で、江川新会長の挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、乾杯発声に続き、歓談、新入会員紹介が行われた。活発な交流が行われた後、岸本前会長の挨拶で閉会した。

中国経済産業局　産業部　中小企業課　課長　近村　淳　様
広島県商工労働局　経営革新課　課長　松岡　弘道　様
独立行政法人中小企業基盤整備機構　中国本部　本部長　村松　清孝　様
公益財団法人ひろしま産業振興機構　常務理事　天野　清彦　様
公益財団法人広島市産業振興センター　中小企業支援センター　副所長　椎木明史　様
中小企業大学校　広島校　校長　岡田　俊　様
広島商工会議所　中小企業振興部　経営支援チーム　リーダー　中山　裕輔　様
広島県商工会連合会　地域振興部　部長　脇安　秀明　様
広島県中小企業団体中央会　事務局長　藤本　光徳　様
広島県中小企業再生支援協議会　経営改善支援センター　支援センター長　斉藤　博　様
中国税理士会　広島県西部支部連合会　会長　海老澤　孝公　様
広島司法書士会　会長　高尾　昌二　様
広島県社会保険労務士会　副会長　伴　守　様
日本公認会計士協会中国会　会長　蔵田　修　様
広島県行政書士会　副会長　坪田　忠貴　様
日本政策金融公庫　広島支店　支店長　竹村　隆　様
呉信用金庫　営業統括本部　地域貢献部　調査役　中島　文晴　様

## 平成 30 年度役員・委員名簿

【　役　員　】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 代表理事 /会 長 | 江川 雅典 | | |
| 副 会 長 | 井上 明雄 | 大村 貞之 | 西原 州康 |
| 専 務 理 事 | 西村 英樹 | | |
| 理　　事 | 岡　佳弘 | 小川 成洋 | 落野 洋一 |
| | 川角 栄二 | 黒川 睦郎 | 小寺 崇之 |
| | 田辺　稔 | 波出石 誠 | 松浦 和夫 |
| | 松浦 由浩 | 宮前 美方子 | |
| 監　　事 | 岩井屋 忠昭 | 木村 武則 | |

【　顧問/相談役　】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 顧　　問 | 藤田 武志・岸本　実 | 相談役 | 田村 善光 |

【　各　委　員　会　】

| 委 員 会 | 委 員 長 | 副委員長 | 委　員 | |
|---|---|---|---|---|
| 総務委員会 | 波出石 誠 | 谷本 俊満 | 児玉 忠則 | 中尾 友和 |
| | | | 佐藤 温彦 | 平田 里文 |
| | | | 渡辺 敏明 | 松浦 和夫 |
| 広報委員会 | 小寺 崇之 | | 青谷 智晃 | 三本木 至宏 |
| | | | 原 信之介 | 藤本 彰光 |
| | | | 古川 佐千夫 | 丸田　稔 |
| 試験委員会 | 落野 洋一 | 松浦 由浩 | 岩井屋 忠昭 | 植田 昌子 |
| | | | 馬上 元彦 | 木村 義洋 |
| 診断実務委員会 | 小川 成洋 | 田村 善光 | 川角 栄二 | 水津 卓也 |
| 更新研修委員会 | 宮前 美方子 | 野村 哲朗<br>弓掛　元 | 三宅 慶子 | 小地原 良樹 |
| | | | 金田 賢二 | |
| 会員研修委員会 | 川角 栄二 | 榎　志織 | 大島 季子 | 木村 武則 |
| | | | 牧野 恵美子 | |
| ｸﾞﾙｰﾌﾟ研究委員会 | 岡　佳弘 | 岩田 潤一<br>黒川 睦郎 | 市岡 和美 | 岡本 志朗 |
| | | | 黒崎 崇貴 | 小林 幸夫 |
| | | | 鉄本 一生 | 野崎 義博 |
| | | | 宮前 美方子 | |
| 品質保証委員会 | 西村 英樹 | | 黒川 睦郎 | 田辺　稔 |
| | | | 松浦 和夫 | 松浦 由浩 |

# 連　載

## １．スキルアップメニュー

**『平成 29 年度　冬期実務補習 3 月コース受講（広島地区第 3 班）　報告』**

実務補習生：梅本英明、牧野恵美子、伊原正浩、若井匡弘（文責）

１．はじめに

平成 30 年 3 月 2 日から 3 月 12 日まで、川角栄二先生のご指導のもと、金融機関勤務、NPO 法人勤務、会社経営者、不動産会社勤務の計 4 名で、中小企業診断士の実務補習に取り組んだ。実務補習参加回数は、全員が 3 回目であった。

２．診断先企業の概要

診断先企業は、広島県 A 市の金属製品製造業者であり、高い技術力が評価され、長きにわたり事業を営んでいる。従来、公共工事により利益を積み上げていたが、近年の公共工事減少により受注額が落ち込み、ここ数年赤字が続いている。現在は東京オリンピック・パラリンピック競技大会特需により、今後数年は黒字計上できる可能性が高まっている。

３．現状の課題

問題は、高い技術力を有しながら公共事業に依存した体制から脱却できていないことであり、その原因は、会社が目指す方向性が不明確で、組織力が活かせていないことであると考えた。

４．今後の方向性と改善提案

今後の方向性は、会社の思いを明示・共有し組織力を向上させ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会特需に頼らずとも黒字計上ができる体制を整えることである。それを実現するために、以下のような提案を行った。

経営戦略：経営理念の明文化による方向性の共有および現有製品・技術力を活かした新市場開拓戦略による収益力向上

財務会計：費用管理表の作成・管理、稟議書の使用、原価企画によるコスト削減を通じての収益性改善

人事労務：選考精度の向上や社内環境の改善による従業員定着率向上や組織力向上

製品開発・IT：新製品チームの設置による社長依存の新製品開発からの脱却および売上、採用強化につながる HP 作成

５．実務補習後の所感.

限られた時間で行った情報収集が十分でなく、提案事項のなかには診断先企業で、すでに検討済みのものもあった。一方で、「この時間でここまでの報告書ができあがることを想像していなか

った」、「報告書にあるいくつかの提案を参考にして、新たに、または再度取り組んでみたい」という言葉をいただくことができた。

知識・経験豊富な社長主導のもと、診断先企業内において様々な取り組みを行っており、当初経営課題を見つけることに苦労した。しかし、実務補習に協力いただいた企業のために有用な提案を行いたいという思いで班員が知恵を出し合った結果、前述の改善提案をするに至った。皆で協力し、必死に努力すれば、想定を超える成果物が作成できることを実感した数日間であった。

最後に、お忙しいなか実務補習に協力してくださった診断先企業、的確でわかりやすくご指導くださった川角先生に、この場を借りてお礼を申し上げたい。

## ２．診断士コミュニティ

### 随筆・見聞録　『中小企業診断士　×　？？士（師）について』

中小企業診断士　原　信之介

私は建設業に携わっています。建設業界は、危険作業を伴う業界である事から様々な国家資格の取得が求められています。この事から建設業界に携わる方々の名刺には、各人が取得した（保有している）国家資格等を記載する傾向にあり､私の場合も１級電気施工管理技士等の電気(計装）工事に関わる資格を記載しています。また、事業とは直接は関係の無い、『中小企業診断士』についても折角なので記載しています。建設業界内の交流会等に於いて、名刺交換をさせて頂くと『へ～～診断士の資格をお持ちですか！』等と珍しがられる事が沢山あります。実際、私の経験からも建設業界で中小企業診断士資格を持つ方にお会いした事は、ほとんど無い様に思います。この事から電気工事関係の資格と中小企業診断士資格を掛け合わせる事によって、特異なポジションを築けたのではと思っています。

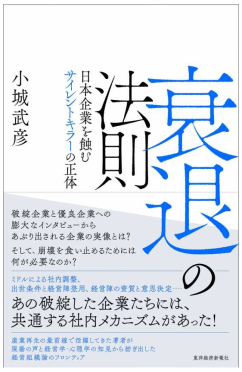
珍しがられる事に味を占めた私は、中小企業診断士と何らかの新たな資格を掛け合わせ、新たなポジションを築けないものかと思案しておりました。そんな中、2018 年 4 月 25 日に広島城の堀で猪が捕獲されたとのニュースを見る機会がありました。猪について調べてみると、猟師が高齢化した事によって、猟をする機会が減り、その結果、猪や鹿による獣害が増加傾向となっている事が分かりました。獣害を減らす為には、若い猟師を増やす事が社会的な課題となっている様で、大日本猟友会等では、猟師になる方法を教えるセミナー等を全国各地で開催されています。また、獣害の多い市町村等では、猟銃免許を取る為の費用をサポートする等の試みを行っている事や猟師の収入確保の為の取組として、猪肉等を活用したジビエ料理による町おこしを行っている事例も多く見受けられます。

狩猟という歴史のある業界（文化）に於いて、中小企業の変革をサポートする中小企業診断士が出来る事も多々あるのではと思うと共に、中小企業診断士　×　猟師　×　電気工事士って珍し

いのではと考え、近い将来に猟師（猟銃免許）を取得たいと考えました。早速、猟銃免許を取得する為の要件等を確認したところ、筆記試験、射撃による実地試験を合格する必要がある事が分かりました。その他に平日昼間に申請書等を提出するために何度も警察署に行く必要がある事（猟銃を持つ事から申請者が短気な人物では無いかを確認する必要があり、警察署では様々な嫌がらせを受ける様です。）や猟銃の保管状況を確認する為に自宅への立ち入り検査がある事、申請者が不審者で無い事を確認する為に近所に住む方に対して聞き取り調査を行う事等も分かりました。また、私の計算するところ、免許取得（猟銃代を含む）までに 40 万円程の費用がかかる事も分かっており、資金的なハードルも高くなりそうです。若い猟師のなり手がいない原因は、この様な心理的、資金的なハードルの高さにあるのではと思いますが、中小企業診断士風に言うと、参入障壁が高いと考えられ、珍しさを求める私にとっては、適した資格であると思っています。心理的な圧力に耐える事が出来るのか？40 万円をどこから捻出するのか？妻、子供、メルカリ、ヤフオク、ブックオフとよくよく相談をして、全国初？のマタギ　兼　中小企業診断士　兼　電気工事士として活躍できればと思っています（笑）。

## 書評　『衰退の法則』

**中小企業診断士　青谷　智晃**




**「衰退の法則」**

**～日本企業を蝕むサイレントキラーの正体～**

著　者：小城 武彦

出版社：東洋経済新報社

発行日：2017/5/26

価　格：3,240 円（税込）

「えっ、この会社でも!?」といったように、日本を代表する企業の不祥事が次々と明るみにでる昨今であるが、日本企業がある法則に基づいて衰退していることを示唆するようなこの表題、なかなか衝撃的ではないだろうか。

著者の小城武彦氏は、㈱産業再生機構で破綻に瀕した企業の再生の仕事に従事し、特にカネボウを再建したことで知られている。他にも、丸善㈱の代表取締役を務めるなど、様々な企業を渡り歩いている、まさにプロの経営者である。

この著書は、小城氏が、様々な危険企業を見てきた経験を、学術的なアプローチで分析してまとめ上げた意欲作である。こうした場合、著者が自身の経験談を蕩々と語る形式が多いが、小城

氏のアプローチは、そうした主観的な見方を極力排除して、膨大な関係者へのインタビューと客観的なデータに基づいて日本企業を分析しようとしていくもので、一般のビジネス書とは肌合いの異なる新鮮なアプローチとなっている。

本書の分析を読んでいて興味深かったのは企業が破綻に至る原因が「サイレントキラー」である、つまり、通常は表に出てこない、という指摘である。すなわち、破綻の原因が企業にあっても、企業を取り巻く外部環境に大きな変化がない限り業績を上げ続けることができるので、破綻の原因が大きくなっていくことに気づかない、いざ外部環境に大きな変化が起こり、企業がそれへの対応を求められる場面に直面して､はじめて適切な意思決定機能が失われていること気づき、立て直す術もないまま破綻へ突き進んでいくことになる、というのである。

環境変化がますます加速化している現在、企業内部の意思決定が適切に機能しているのか、来るべき環境変化に対応できるのか、客観的で冷静な視点で分析をして、問題があれば業績悪化の前に病巣を取り除かなければならないというわけで、こうした視点をもって、経営者自身が気づいていない企業内部の問題を指摘することは、まさに現代の中小企業診断士に求められているスキルと言うべきであろう。著者の熱意が感じられる力作であり、ご一読をおすすめしたい。

## 『診断士リレー訪問記』

中小企業診断士　金田　賢二

**大島　季子（おおしま　ときこ）氏**

私がご紹介させていただくのは大島さんです。私が大島さんと初めてお会いしたのは、中小企業診断士二次口述試験を終えた直後のエレベーターの中でした。二人とも緊張のあまり青い顔をしていたことを思い出します。

大島さんは広島県安芸郡府中町のご出身で、町内に今はなきビール工場があり、麦汁を煮出す匂いを嗅ぎながら通学されていたそうです。中高は地元の学校を、その後大学・就職と広島から離れ、平成 28 年に U ターンで広島に戻られました。現在はご主人と男の子 3 人家族で暮らされているとのこと。本人曰く「動物園」だそうです。

趣味は体を動かすこと。8 回のフルマラソン経験をお持ちであり、広島市内はほぼ自転車で移動されるアクティブな面をお持ちです。さらに、料理やホームパーティがお好きで、新鮮な食材とワインの組み合わせを考えながら、お買い物や料理をされるのが楽しみとのことです。

キャリアのスタートは新卒で入ったキリンビール株式会社からです。営業や営業企画を担当され、特に印象に残っているのは 3 千人のビール好き女性コミュニティの立上げと運営に携わられたことだそうです。女性が喜ぶイベント企画、クチコミ創出のための工夫などをした成果で、10 年以上経つ今でも当時のお客様が継続されているそうです。また、首都圏での量販店向け営業企画時代は、POS データを活用し、メーカー目線の商品構成を改めるべく社内提案を行われました。その結果、現在でもコアファンのつくブランドを育てるにいたりました。現場発信で商品を売れる事実を作り出し、全国の戦略に影響を与えることになったのは、大きな自信となったと、当時のお話をお聞かせいただきました。

中小企業診断士を目指したきっかけは大学で経営学を学んでいたときから。いずれは会社を経営したいと漠然と思っておられたそうです。そんな中、平成 26 年に東京から大阪へ単身赴任されることになり、家事育児をしなくてよい空いた平日の就業時間後に、中小企業診断士の資格取得に向けて学習を始められました。平日は大阪で仕事、週末は東京のご家族のもと、という生活を約 2 年間続け、通信講座のテキストに向き合う日々だったご苦労をお聞かせいただきました。ご苦労の甲斐あって平成 28 年度の試験に合格されました。平成 29 年末にキリンビール株式会社をご退職、現在は独立してプロコンとしてご活躍中です。県協会の会員研修委員会の活動にも委員として参画されています。

平成 30 年 1 月からは広島県よろず支援拠点で、中小企業・小規模事業者の支援をされています。診断士として身につけた知識からご自身なりのアドバイスができるよう心がけておられるとのこと。前職での小売・飲食店業界向け営業経験、大市場での体験、コーチングの経験が診断士

として役にたっているとお話しいただきました。
打てば響く、懐が深くて広い中小企業診断士になりたい。事業承継や事業再生を経験したい。そのために独立１年目の今はなんでもやり、遠回りでもしっかり調べ、聞き、身につけていきたいとの抱負をお聞かせいただきました。また、広島のインバウンド市場の成長性に着目されており、プロジェクトがあれば積極的に参画したいとの決意を語っていただきました。事業者の立場を理解・実践するためご自宅でフェイシャルエステ施術をされており、現在は友人モニター期間中だそうですが、今年中にはお客様を呼びたいとの目標をお持ちです。エステシャン×診断士ですね。（笑）。

今は野球少年の母として土日も試合や練習で忙しい大島さんですが、あと 10 年はそんな日々なのかな、と割り切りながらも、新しい趣味としてジャズピアノを始めたいそうです。またご主人との思い出でもあるホノルルマラソンに家族で出場されるのが夢だそうです。

主婦として、母として、中小企業診断士として、公私共に充実した毎日を送られている大島さんですが、何事にも前向きに取り組まれる姿勢、継続できる強さ、そしてなによりも人を引き付ける心の温かさが背景にあると取材を通じて感じました。また多くの気付きや刺激をいただき、同期の中小企業診断士として、改めて身が引き締まる思いです。

なお、取材でお会いさせていただいた大島さんはとても穏やかな表情で、顔色もご健康そうだったことを付け加えておきます。

## 『新入会員紹介』

**正会員**

**伊垣　洋介（いがき　ようすけ）**

平成 29 年 10 月に中小企業診断士に登録し、この度、広島県中小企業診断協会に入会致しました、伊垣洋介と申します。

生まれも育ちもほぼ福山市で、現在は福山市内の企業で企画部門として「M&A」、「事業戦略の立案」、「子会社管理」等の業務を行っております。

M&A を経験していく中で、弁護士・公認会計士・経営コンサルタント等専門家の方々と一緒にデューデリジェンス（買収先の企業価値やリスク調査）を行う際や実行後の PMI（Post Merger Integration）支援において、経営の事を知らないと仕事にならないと感じたことが中小企業診断士を目指したきっかけとなりました。

企業内診断士の会にも入会させて頂きましたが、新たなネットワーク作りと視野を広げ、引き出しを増やしていきたいと考えております。

今後は、協会の活動にも参加させていただきながら自己研鑽に励み、地域にも貢献出来る活動を行いたいと考えておりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

**正会員**

**塩田　睦大（しおだ　むつひろ）**

この度、広島県中小企業診断協会に入会しました、塩田睦大と申します。私は東京出身ですが、生まれながらのカープファンということで、広島県の診断協会に入会しました。昨年実施された第２回中国新聞カープ検定１級に合格したぐらいカープ一筋大ファンです。

専門はカープだけではなく不動産もありまして、現在は３つとも未登録ですが、司法書士、公認会計士、不動産鑑定士の資格を保有しており、これらの資格の知識と東京での司法書士の実務経験を生かして不動産・マンションの分散投資を得意としています。また、複数の難関資格を保有していることから、私の勉強法を知りたいというニーズを多くいただいており、今後は勉強法に関するセミナーや執筆にも力を入れていきたいと考えています。私の勉強法は AI が苦手とする能力を駆使するので、これからの AI 時代には打って付けです。診断士としても、法律、会計、不動産、金融、カープの知識などを生かして多角的な切り口で診断・助言させていただきます。

本年５月末からは（一社）広島県マンション管理士会の理事を務めさせていただいており、マ

ンション管理に診断士として学んだ経営の視点を取り入れるご提案にもチャレンジしていきたいと思っています。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

**正会員**

**鳴重　泰（なるしげ　やすし）**

初めまして、新入会員の鳴重泰と申します。2011 年まさに東日本大震災のひと月前 2 月に診断士に登録し、東京都協会で 4 年間、神奈川県協会で 3 年間、主に企業内診断士として活動してまいりました。このたび縁あって広島の物流会社に勤務することになりました。これまで約 35 年間、液晶デバイス事業の黎明期から成熟期まで一貫して従事し、まさに研究段階の「魔の川」、開発段階の「死の谷」、そして大競争時代の「ダーウィンの海」では事業統合（M&A）なども経験してまいりました。広島では物流というサービス業に加えてモノづくり（製造業）の融合による新たな顧客価値の創造に挑戦したいと考えております。趣味は学生時代に始めた日本少林寺拳法で現在、広島西条道院に通っています。また夫婦で日本 100 名城登城に挑戦中で、これまで東日本 51 城を制覇、今後は中国地方を中心に西日本の名城めぐりが楽しみです。先日の総会での「産学官」連携のご講演を伺い、まさに毛利元就の「3 本の矢」に通ずる地のご縁も感じております。グループ研究会にも積極的に参加したいと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

**正会員**

**牧野　恵美子（まきの　えみこ）**

平成 30 年 4 月に中小企業診断士の登録をし、広島県中小企業診断協会に入会いたしました、牧野恵美子と申します。福山市出身で、大学時代を京都で過ごし、大学卒業後、（株）イズミに就職し広島に戻ってきました。販売業務を中心に行ってきましたが、結婚後に退職し、その後は事務職やパソコンインストラクターなどに従事しています。

中小企業診断士を目指したきっかけは、知り合いの診断士の先生方が生き生きと仕事をされていたこと、人や中小企業のために誇りをもって仕事をされている姿に感動して、自分もそうなりたいと思ったからです。

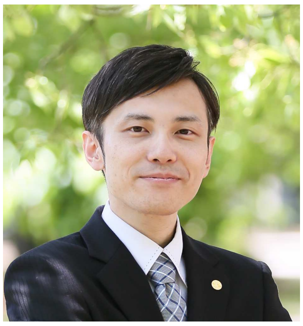
合格までに 3 年かかりましたが、子供たちが次々と受験期に突入したので、子供と机を並べて一緒に勉強したのが、いい思い出です。

中小企業診断士としての人生は始まったばかりですが、実務補習を通して知り合った仲間、指導していただいた先生方、また診断協会に入会してからも素晴らしい先生方と出会い、ご縁に感謝すると同時にこれからが楽しみです。診断協会では会員研修委員会に参加させていただくことになりました。分からないことばかりですが真摯に取り組んでいきたいと思います。

これからも自己研鑽に努め、中小企業診断士として成長していけるよう努力していきますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

**正会員**

**森若　壽英（もりわか　かずよし）**



この度、広島県中小企業診断協会に入会致しました、森若壽英と申します。2018 年 12 月で 34 歳になります。

大学時代は宮城県仙台市に住み、物理学を学んでおりましたが、大学時代を除けば、生まれも育ちも広島です（地元の広島県協会に入ることができ、広島の方々とつながれて、最高にうれしいです）。大学卒業後は、自動車用部品を製造販売する会社に就職し、広島で 2012 年 1 月～2017 年 1 月まで営業・販価改善・原価管理などの業務を、静岡で 2017 年 2 月～2018 年 6 月まで経営企画の業務を担当致しました。

2018 年 6 月からは会社を退職し、地元広島に戻り、独立診断士（プロコン）として活動して参ります。経営者の夢実現に向けて精一杯尽力する所存です。

若輩ですが、広島県協会での活動を含め、協会の先輩方をはじめとして、関係者の皆さまと協力一致していきながら、一刻も早く地元広島県を中心とした中小企業を元気にしていけるようなプロフェッショナルになるという思いを持っております。

先輩方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い致します。頑張ります！

**正会員**

**山口　卓（やまぐち　たかし）**

会報をご覧の会員の皆様、初めまして。この度、広島県中小企業診断士協会に入会した山口卓と申します。私は、平成 19 年 12 月 15 日付けで弁護士登録をし、同日より現在まで、山下江法律事務所にて弁護士として勤務しております。

弁護士として業務を行う中で、法律以外の分野も勉強しようと思い立って簿記の勉強を始め、何とか日商簿記 1 級に合格しました。その後、簿記の知識が生かせて、法務の隣接分野であり、更に見聞を広めることができそうだと考え、中小企業診断士の受験を決めました。

弁護士業務は、過去の事実を現在から振り返ってどのように評価するか、評価すべきかを考えることがどうしても多くなるため、過去志向の業務であると言えます。それに対して、診断士業務は、財務諸表などの過去のデータを未来に活かすために利用し、如何にして現状を変化させることができるかという未来志向の業務であると考えています。

全くの経験不足ではありますが、今後は、診断士と弁護士の 2 つの資格を活かして、経営改善

や事業承継などの分野に取り組みたい所存です。元より未熟者ではございますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

**特別会員**

**白澤　守（しらさわ　まもる）**

この度、広島中小企業診断士協会に入会致しました白澤守と申します。現在は、公共の職業訓練校の職業訓練指導員（情報処理系）として、障害者を対象とした情報系の職業訓練に従事しています。

以前は、ソフトウェアの会社でSEをしており、BtoBのクライアントサーバ系やWeb系のシステム開発に従事していました。

中小企業診断士を目指したのはSEの時です。当時、様々な中小企業の方々の要望をもとにシステムの開発を行っていました。しかし、開発したシステムの中には、お客様の費用対効果が見込めないものもあり、お客様にとって本当に必要なシステムを開発するためには、経営に関する幅広い知識を持ち、自ら提案する必要性を感じたため、中小企業診断士の取得を目指しました。

試験に合格をしたのはSEの時ですが、実務補習の終了に３年かかったため、転職後の昨年度に中小企業診断士に登録することになりました。実務補習では、素晴らしい先生方や様々な方と出会い、診断士のレベルや意識の高さに刺激を受け、とても充実した期間でした。

今後は、職業訓練校にて企業が求める人材育成のための訓練や指導に、中小企業診断士の知識を生かしていきたいと考えております。

まだ入会して月日は浅いですが、ご指導の程をよろしくお願いいたします。

# 平成 30 年度　研究会活動計画

## 『建築業研究会』

研究会代表　柳川　治久

１．活動状況

現在、本会のメンバーは 6 名在籍している。構成は、建設関連産業で仕事をした経験がある方と、中小企業診断士なるまで建設業にあまり縁のなかった方が約半数ずつ在籍している。メンバーのサンプル事例を参考にして、自身の経営支援の実践の場で役に立つ「建設業研究会の推奨するコンサルティングノウハウ」や「在籍するメンバー独自のコンサルティングノウハウ」の構築を目指して活動してきた。なお、原価管理研究会の代表を率いる増田宜彦先生は、当研究会の前代表でもあり、両研究会は相互に情報交換等を行う友好関係にある。

２．平成 30 年度活動テーマ

昨今、中小建設関連企業においても、生産性向上や担い手確保等は重要な課題である。これらを踏まえて、本年度の会合においては次の 2 点を重点目標にあげる。

①毎回の会合では、「地元に根差した中小建設企業が、地域に不可欠な建設会社になるための経営支援」の視点を重視していきたい。

②通年のテーマとしては、中小工務店への影響が非常に大きい「2020 年省エネ住宅基準」に対して、建設業研究会独自の“経営支援ガイドライン”作成を目指したい。

約 2 か月毎に行われる会合の中では、メンバーが現在関与している建設関連企業の問題点・課題の相談も行っている。今まであまり建設業に縁がなかったが、今後建設会社の経営診断や支援活動を行ってみたいと興味をお持ちの方々は是非一度ご参加下さい。

## 『企業内診断士診断能力向上研究会』

研究会広報担当　岩田　潤一

企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）では、「企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）」「中小企業経営の改善・革新の支援（貢献）」「診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）」を目的として、活動に取り組んでいる。

会員数は、発足より年々増加し、8 年目を迎える今年度は、37 名（平成 30

年 4 月時点）である。

毎月第 3 土曜日に月例会合を開催し、会員それぞれがグループ研究、個人研究を行い、発表を行っている。また、会員からの紹介等による実務診断にも積極的に取り組んでいる。加えて、平成 30 年 7 月 21 日（土）及び 11 月 17 日（土）は、理論政策更新研修後に交流会を行う予定としており、当研究会会員以外の方も是非ご参加いただきたい。

平成 30 年 4 月の年次総会後に、県協会岸本会長（当時）をお招きし開催した懇親会の様子

## 『ニューロビジネス研究会』

研究会代表　西村　英樹

ニューロビジネスとは脳科学の知見をビジネスに活用するもので、AI、ロボティクス等の技術において急速に導入が進んでいる。当研究会は診断協会会員だけではなく、AI に関心を持つ中小企業経営者（ユーザー、ベンダー）もメンバーに加え、中小製造業が抱える経営課題に対して、AI を活用する具体的な方法についての調査研究を行っている。

前年度は、①県内の中小製造業 100 社を対象とした AI についてのアンケート調査　②AI 技術（ディープラーニング、ORGENIUS）の具体的活用方法に関する実証研究　を中心に研究活動を行ったが、今年度も引続き AI に関する活動を行う。

| | | |
|---|---|---|
| 黒崎　崇貴 | 三本木　至宏 | 水津　卓也 |
| 西村　英樹 | 平見　尚隆 | 吉村　厚司 |
| 丸田　稔 | 上田　寛治 | 高下　和浩 |
| 津田　義明 | 前田　啓太郎 | 柳原　邦典 |

主な活動内容は以下のとおりである。

（1）情報発信

・研究会活動で蓄積された知見に基づき、AI 関連書籍を出版する。

・セミナー等を通じて、中小企業における AI の活用方法等ついて情報提供を行う。

（2）AI 活用に関する調査研究

・製造現場における AI の具体的な活用方法について調査研究を行う。

（3）関係機関との連携強化

・行政、大学、中小企業関連団体等との連携を強化し研究活動を促進させる。

（4）会合場所等

・会合は毎月第 3 土曜日午前に広島市内で行う予定である。

## 『IoT 研究会』

研究会代表　丸田　稔

１．研究会の概要

本研究会は、平成 29 年 3 月に立上げられ、製造技術や IT/IoT の専門性を持つ５名の会員と外部専門家２名の合計７名のメンバーで推進している。

研究の主テーマは、「中小製造業の課題解決に対して、IoT がどのように活用できるかを探る事」である。

２．本年度の研究活動

本年度の活動目標は、「中小製造業において IoT をどのように活用するか」の手引きとなる具体的な事例集を纏めることである。そのために協力会社を募集し、研究会で作成した IoT ツール、ソフトウエアによる実証実験を行いながら関係機関と協力し事例集の作成を行う。

# 平成 30 年度　委員会計画

## 『総務委員会』

総務委員長　波出石　誠

１．活動方針と委員会体制

総務委員会は、県協会の円滑な運営への寄与を活動方針とする。今年度は委員長に波出石誠、副委員長に谷本俊満、委員に佐藤温彦、松浦和夫、渡辺敏明、平田里文、児玉忠則、中尾友和の８名体制で活動を推進する。

２．活動計画

総務委員会では、以下の活動を行う。

（１）総会及び理事会の企画・運営

通常総会（5 月）及び理事会（4 月､8 月､11 月､2 月）を開催する。

（２）当協会及び中小企業診断士の認知度向上

①診断士の日関連イベント（11 月。シンポジウム）の実施（各委員会と連携）

②当協会の 60 周年（来年度）記念事業の準備（各委員会と連携）

（３）外部関係機関との連携事業

①全国本部及び中国 5 県の診断協会との連絡会議（10 月）、中国経済産業局と新年度中小企業施策・予算などについての勉強会（1 月）

②広島自由業団体連絡協議会（4 月、7 月、11 月、2 月）

③無料よろず相談会（広島の自由業 12 団体が連携して開催する無料相談会。11 月）

④図書館ビジネス相談会（広島市立中央図書館：第 2 土曜日、福山市中央図書館：第 4 土曜日）

⑤創業相談会（関係 8 機関が連携して開催する無料創業相談会）

⑥診断ひろしまの配布（年 2 回）

（４）入会促進・PR 活動

（５）その他

協会規定の改廃、会員の綱紀・表彰、その他総務事項の推進。

## 『広報委員会』

**広報委員長　小寺　崇之**

１．委員会メンバー

平成 30 年度の広報委員会は、委員長に小寺崇之、委員に青谷智晃、三本木至宏、原信之介、藤本彰光、古川佐千夫、丸田稔の 7 名体制で推進する。

２．活動内容

広報委員会は、中小企業診断士の認知度向上および中小企業診断士の能力向上のために県協会が行う活動を支援することを目的とし、次の活動を行う計画である。

（1）協会機関誌「診断ひろしま」の発行

協会・各委員会・研究会の計画や活動の紹介、スキルアップメニュー（実務従事報告等）や、診断士コミュニティ（随筆見聞録、書籍出版紹介、診断士リレー訪問記、新入会員紹介）等を掲載する。本年度は、6 月（本号）と 1 月の 2 回の発行を計画している。

（2）広報活動の推進

協会の活動および取り組みについて、会員や各関係機関等に広く周知を図るための広報活動を行う。具体的な活動内容については今後の委員会にて話し合いを行い決定していく。

## 『試験委員会』

**試験委員長　落野　洋一**

今年度から当委員会は、中小企業診断士第一次試験、第二次試験（筆記・口述）の実施計画の立案とその業務実施に特化することとなった。これに伴い、試験委員会のメンバーも新たな顔ぶれで活動をおこなっていく。

| | |
|---|---|
| 委員長 | 落野洋一 |
| 副委員長 | 松浦由浩 |
| 委員 | 岩井屋忠昭、植田昌子、馬上元彦、木村義洋 |

平成 30 年度中小企業診断士試験日程

１．第一次試験

平成 30 年 8 月 4 日（土)、5 日（日）広島工業大学専門学校（広島県広島市西区福島町 2-1-1）

２．第二次試験（筆記）

平成 30 年 10 月 21 日（日）

３．第二次試験（口述）

平成 30 年 12 月 16 日（日）

※第二次試験の試験会場については、まだ公表されていないため掲載しない。

## 『診断実務委員会』

診断実務委員長　小川　成洋

（試験委員会の実務補習事業と更新研修委員会の実務従事事業を統合して新設）

活動方針

①実務補習テキストの内容が改定、指導員への周知・徹底を図る。
②実務補習指導員及び実務従事指導員の増員
③実務従事診断手法の新たな試みと新手法を導入してより一層のスキルアップと経営診断の楽しさを提供。

１．実務補習事業

(1)夏季コース　(5 日コースのみ)：RCC 文化センター

第 1 回：平成 30 年 7 月 6 日(金)～7 月 17 日(火)修了式
第 2 回:平成 30 年 9 月 7 日(金)～9 月 18 日(火)修了式

（２)冬季コース　(5 日間コース・15 日間コース)　：RCC 文化センター

第 1 回:平成 31 年 2 月 8 日(金)～2 月 18 日(月) 修了式(5 日間コース)
第 2 回:平成 31 年 2 月 22 日(金)～3 月 4 日(月)
第 3 回:平成 31 年 3 月 8 日(金)～3 月 18 日(月) 修了式(15 日間コース)

２．実務従事事業

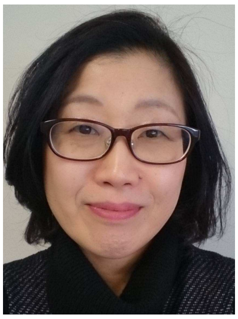
10 月コース　　11 月コースを予定　7 月ごろ募集予定

## 『更新研修委員会』

更新研修委員長　宮前　美方子

１．委員会メンバー

平成30年度の更新研修委員会は、委員長に宮前美方子（新任）、副委員長に弓掛元、野村哲朗（新任）、委員に三宅慶子、小地原良樹、金田賢二（新任）の合計6名の体制で推進する。



２．活動内容

更新研修委員会は、中小企業診断士の登録に必要な5年ごとの「知識の補充要件」の更新要件を、充実した内容で提供することを目的とし、参加者の意向を反映させるため、会場や講師など運営に携わる内容を、委員会の協議により決定し、運営していく。

本年度は、7月に受講したいという要望に応えるため7月に2回実施し、年4回の理論政策更新研修を実施する予定である。

３．理論政策研修予定

| | 日時 | テーマ① | テーマ② | 場所 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | H30 .7.21(土) | 中小企業<br>施策について | 中小企業の知財戦略支援 | 広島県情報プラザ |
| 第2回 | H30. 7.22(日) | | | |
| 第3回 | H30.11.17(土) | | 中小企業の事業承継支援 | |
| 第4回 | H31. 2.16(土) | | 顧客至上主義脱却としての『尖がり』型経営 | 福山市ものづくり交流館<br>エフピコＲＩＭ |

## 『会員研修委員会』

会員研修委員長　川角　栄二

１．委員構成

本年度の会員研修委員会は、２名の継続メンバーに３名の新メンバーが加わり、フレッシュな体制となりつつも、昨年度まで委員長を務めていた井上副会長が本委員会を統括することで安定の布陣となった。

２．活動方針

昨年度に引き続き、中小企業診断士の資質及び技能の向上という本来の目的に沿った活動を推

進する。本年度は、中国経済産業局知的財産室から「中国地域における知財支援人材の育成に関する調査・研究事業」への協力要請を受けており、その一環として、中小企業診断士を対象とする「知財支援人材育成セミナー」(3回シリーズ、日程未定) を開催する予定である。

３．活動計画

上記の「知財支援人材育成セミナー」の他に、「事業再生」「資金繰り・キャッシュフロー経営」をテーマとする2部構成のセミナーを、下記要領で行う予定である。

日時… 9月22日（土）13:30～16:30
会場… 広島市中区千田町3丁目7－47　広島県情報プラザ2F　視聴覚室
講師… 第1部　日本政策金融公庫　野口　裕司　氏
第2部　株式会社ビスサポート　稲葉　琢也　氏

## 『グループ研究委員会』

**グループ研究委員長　岡　佳弘**

１．はじめに

研究会は、現在、11グループ（うち東部地区２グループ）が活動中である。

今年度も研究会活動の活性化を図るとともに、新規研究会の設立を促進することにより、会員相互の研修の場を提供し、当協会の会員増加に貢献していく。

２．委員会体制

グループ研究委員会は、6研究会に所属する計10名の委員により活動を行う。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 委員長 | 岡　佳弘〔再〕 | | |
| 副委員長 | 黒川　睦郎〔再〕 | 岩田　潤一〔新〕 | |
| 委　員<br>(50音順) | 市岡　和美〔再〕 | 岡本　志朗〔再〕 | 黒崎　崇貴〔新〕 |
| | 小林　幸夫〔再〕 | 鉄本　一生〔新〕 | 野崎　義博〔新〕 |
| | 宮前　美方子〔再〕 | | |

３．主な活動計画

（１）研究会活動のPR、新規研究会設立促進

研究会活動PR小冊子の掲載情報を更新し、引き続き協会ＨＰで公開するとともに、様々な機会を捉えPRを実施する。また、新規研究テーマの発掘等により新規研究会の設立を促す。

（２）グループ研究会連絡会議

研究会相互の連携を図るとともに、研究会活動活性化に向けた諸課題を議論するため、各研

究会代表による連絡会議を開催する。

（３）研究活動成果発表会

会員相互の研鑽の場を提供するとともに、研究会参加を契機とした協会への新規入会を促進するため、研究成果を中心とした発表会を開催する。

| | |
|---|---|
| ○日時等 | 平成 30 年 9 月 1 日（土）午後 1 時 30 分～5 時　広島県情報プラザ第一研修室 |
| ○発表研究会 | ニューロビジネス研究会、資金繰り表研究会、ISO 研究会、IoT 研究会、事業承継研究会（新)、原価管理研究会（新） |

（４）調査研究補助事業（活動補助費の支給）

研究会活動の活性化を図るとともに、新規研究会の設立意欲を高めるため、研究会の活動にかかる費用の一部を助成する。

（５）研究活動成果の発信

研究成果に関する論文について、随時協会 HP 上で公開する。また、協会本部「平成 30 年度調査研究事業」への積極的な応募を促す。

## 『品質保証委員会』

品質保証委員長　西村　英樹

品質保証委員会はこれまで受託委員会が築いてきた数々の実績をベースに、県協会が受託する事業の拡大及び受託事業の品質向上を目的に今年度より活動を開始する。

１．委員会メンバー

| | |
|---|---|
| 黒川　睦郎 | 田辺　稔 |
| 西村　英樹 | 松浦　和夫 |
| 松浦　由浩 | |

２．活動方針

①協会の受託事業の円滑な運営

・受託事業の受入態勢・運用規定等の構築、申請書の作成等を行う。

②新規受託事業の拡充

・公的支援機関との連携維持・強化、金融機関・民間支援団体等との連携活動の新規開拓を行う。

・中小企業診断士の認知度の向上や診断士の日のキャラバン活動等を通じた関係機関との連携を強化する。

③専門家登録会員への活動の機会配分と品質向上の実施

・派遣専門家の研修機会の拡大（グループ研究委員会と連携）、成果物に対する品質向上への助言・是正等を通じた品質保証を行う。

# 巻末のお知らせ

## 『平成 30 年度　年間主要行事日程表』

| 日　　付 | 行　　事 |
|---|---|
| 4 月 22 日（日） | 平成 30 年度　第 1 回理事会 |
| 5 月 19 日（土） | 平成 30 年度　通常総会 |
| 7 月 6 日（金）～17 日（火） | 夏期実務補習①（5 日間） |
| 7 月 21 日（土）、22 日（日） | 第 1 回、第 2 回　理論政策更新研修（広島会場） |
| 8 月 4 日（土）、5 日（日） | 中小企業診断士 1 次試験 |
| 8 月 22 日（水） | 平成 30 年度　第 2 回理事会 |
| 9 月 1 日（土） | グループ研究会　研究成果発表会 |
| 9 月 7 日（金）～18 日（火） | 夏期実務補習②（5 日間） |
| 9 月 22 日（土） | 会員研修 |
| 10 月 21 日（日） | 中小企業診断士 2 次試験（筆記試験） |
| 11 月 5 日（月） | 中小企業診断士の日　セミナー |
| 11 月 13 日（火） | 広島市よろず相談会 |
| 11 月 17 日（土） | 第 3 回　理論政策更新研修（広島会場） |
| 11 月 18 日（日） | 平成 30 年度　第 3 回理事会 |
| 12 月 16 日（日） | 中小企業診断士 2 次試験（口述試験） |
| 2 月 16 日（土） | 第 4 回　理論政策更新研修（福山会場） |
| 2 月 8 日（金）～18 日（月） | 冬期実務補習①（15 日間・5 日間） |
| 2 月 20 日（水） | 平成 30 年度　第 4 回理事会 |
| 2 月 22 日（金）～3 月 4 日（月） | 冬期実務補習②（15 日間） |
| 3 月 8 日（金）～18 日（月） | 冬期実務補習③（15 日間） |

# 『事務局からのお知らせ』

１．会費納入のお願い

平成 30 年度の会費納入につきまして、既に振込用紙と請求書を送付させていただいております。納入期日は 6 月 29 日（金）となっておりますので、未だ納入しておられない方は、速やかに納入して頂きますようお願いいたします。

２．専門家登録のお願い（正会員の方へ）

広島県中小企業診断協会では各支援機関より様々な中小企業支援事業を受託しております。県協会が受託した案件については、正会員の中で専門家登録票をご提出して頂いている方に、随時依頼を行っております。まだ、専門家登録票を提出されていない方は是非この機会にご登録をされて、大いに活躍して頂きますようお願いいたします。詳細につきましては、事務局までお問合せください。

３．診断実務実習のお知らせ

日頃診断業務に携わる機会の少ない診断士の皆様向けに、診断手法・診断ノウハウの習得と登録更新に必要な実務従事ポイントの取得を目的とする「診断実務実習」を本年度も下記の通り実施いたします。受講を希望される方は、お早めにお申し込みください。

◇実施時期及び期間

10 月および 11 月、期間はともに 6 日間

実施日は原則として土日祝日（診断先企業の都合により、平日が加わる場合もあります）

◇受講料

当会正会員・特別会員　42,000 円（税込）

非会員　63,000 円（税込）

◇申込締切日：平成 30 年 7 月 31 日（火）

企業内診断士の会 夏季 交流会のご案内
夏
ネットワークを広げよう！！
連携
研鑽
貢献
主催 一般社団法人 広島県中小企業診断協会 企業内診断士の会
交流会ご案内
日 時 7月21日（土）午後6時30分～9時00分
（理論政策更新研修終了後）
内 容 第1部 「ガー・レイノルズに学ぶビジュアル・コミュニケーション」
広島大学教授・中小企業診断士
三本木至宏 氏（当会会員）
第2部 懇親会
会 場 スパッツィオ フェリス
（広島市中区中町10-14 iビル中町2F）
参加費 4千円（2時間飲み放題）
企業内診断士の会は2011年に発足し、8年目を迎えます。
2018年4月現在の会員数は37名です。
中小企業診断士の皆さんのご参加をお待ちしています。
（ご来場の際は普段着でお越しください。）
☆参加希望者は、7月11日（水）までにEmailでご連絡ください。
shiro-ok@ms3.megaegg.ne.jp 岡本

企業内診断士の会 秋季 交流会のご案内
秋
ネットワークを広げよう！！
連携
研鑽
貢献
主催 一般社団法人 広島県中小企業診断協会 企業内診断士の会
交流会ご案内
日 時 11月17日（土）午後6時30分～9時00分
（理論政策更新研修終了後）
内 容 第1部 セミナー（後日発表、乞うご期待！）
第2部 懇親会
会 場 広島市内（未定）
参加費 未定（2時間飲み放題5千円程度）
企業内診断士の会は2011年に発足し、8年目を迎えます。
2018年4月現在の会員数は37名です。
中小企業診断士の皆さんのご参加をお待ちしています。
（ご来場の際は普段着でお越しください。）
☆参加希望者は、11月7日（水）までにEmailでご連絡ください。
shiro-ok@ms3.megaegg.ne.jp 岡本

# グループ研究会
# 2018　研究成果発表会

一般社団法人広島県中小企業診断協会

## 9月１日(土) 13:30～17:00

広島県情報プラザ　第１研修室（広島市中区千田町3丁目7番47号）

受講無料

## 【研究成果発表】

| | | |
|---|---|---|
| 中小製造業における AIの活用について | 中小製造業が抱える経営課題を AI により解決する方法等について、県内 100 社の中小製造業を対象としたアンケート及びに AI 技術の具体的な活用に関する調査研究を行いましたので、その成果について紹介します。 | ニューロビジネス研究会<br>西村　英樹 |
| 資金繰り表 導入マニュアルの紹介 | 資金繰り表を継続作成管理する事で、金融機関から高評価を得られるだけでなく、業績を向上させている企業も多い中、その導入方法を紹介します。(①作成上のルール②導入手順③作成ポイント④効果的管理方法　等) | 資金繰り表研究会<br>大村　貞之<br>江川　雅典<br>岡本　泰之 |
| ISO9001(2015年版)で求められる 経営支援マニュアルの検討 | ＩＳＯ9001 の 2015 年版改訂には、ＱＭＳの前提として「組織の目的及び戦略的な方向性」や「外部及び内部の課題」「プロセスアプローチ」「リスクに基づく考え方」などがあり、それに対応した経営支援マニュアルを提案します。 | ＩＳＯ研究会<br>砂口　たくし |
| 中小製造業に対する IoT の活用 | IoT(Internet of Things)、モノのインターネットの活用について、中小企業製造業にて適用し、実証実験も行いながら、①作業の見える化②自動化③新たな付加価値の創造に関する研究を行っており、その成果について紹介します。 | ＩｏＴ研究会<br>丸田　稔 |

## 【新規研究会紹介】

| | | |
|---|---|---|
| 事業承継研究会のご案内 | 事業承継は、経営者だけでなく国の重要な課題となっています。改正事業承継税制のほか様々な施策を有効に活用し、企業の問題解決を図る事業承継計画の策定と実行支援についての研究を紹介します。 | 事業承継研究会<br>植田　昌子 |
| 原価管理研究会のご案内 | 中小企業診断士が、建設業や製造業等のコンサルティングに活用できる原価管理システムを研究しています。県外各地の研究会との連携も図りながら、多種多様な中小企業への導入事例を積みあげており、その活動を紹介します。 | 原価管理研究会<br>増田　宣彦 |

ご参加を希望される方は下記にご記入の上お申し込みください。

**FAX082-569-7336** もしくは**メール jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp** まで

| | |
|---|---|
| お名前 | 診断士登録番号 |
| 電話番号 | 【非会員の方のみ】<br>今後、中小企業診断協会からの情報提供を<br>□希望する　　□希望しない |
| e-mail | |

主催

**一般社団法人　広島県中小企業診断協会**

〒730-0052　広島県広島市中区千田町３丁目７番 47 号

ＴＥＬ ０８２－５６９－７３３８　ＦＡＸ ０８２－５６９－７３３６

グループ研究会の詳細は協会ホームページで⇒⇒ https://www.hiro-smeca.jp/

# 『編集後記』

本号は新年度号として今年度より新たに本協会の会長に就任した江川会長をはじめ同じく新任の２名の副会長の挨拶の他、5月に行われた通常総会の報告、各委員会や研究会の年度計画の報告等を中心に編集を行った。新体制となり県協会としては新たな船出であり、新たな体制となることは変革のチャンスでもある。広報委員会としても協会や会員が行う様々な取り組みの周知等を行い、協会や各委員会、研究会等をバックアップしていきたいと考えている。また、広報委員会についても今年度より大幅な委員の入れ替わりがあった。新たなメンバーを迎え、これまでと違った広報活動の取り組みを目指していきたいと考えている。

本誌の発行にあたりご協力下さった会員ならびに関係機関の皆様に深くお礼申し上げます。

（広報委員長　小寺 崇之）

【表紙の写真】新緑の季節の広島城（撮影：小寺崇之）

**一般社団法人広島県中小企業診断協会会報　第 79 号　　発行：平成 30 年 6 月 20 日**

**一般社団法人　広島県中小企業診断協会**
〒730-0052
広島市中区千田町３丁目７番４７号　広島県情報プラザ３階
TEL　(082) 569-7338　FAX　(082) 569-7336
E-mail: jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp
発行人　会長　江川　雅典　　　編集人　広報委員長　小寺　崇之